

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【公表番号】特表2011-516613(P2011-516613A)

【公表日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2011-021

【出願番号】特願2011-505164(P2011-505164)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/496	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/496
A 6 1 K	47/38
A 6 1 K	9/14
A 6 1 P	31/10
A 6 1 K	9/48

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月21日(2012.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つのpH感受性ポリマー中に分子分散した弱塩基性かつ難水溶性アゾールを含有する組成物であって、該組成物は、該アゾールおよび該少なくとも1つのpH感受性ポリマーを含有する溶液から溶媒を蒸発させることにより調製される、組成物。

【請求項2】

ヒプロメロースアセテートスクシネット中に分子分散したポサコナゾールを含有する組成物であって、該組成物は、ポサコナゾールおよび該ヒプロメロースアセテートスクシネットポリマーを含有する溶液から溶媒を蒸発させることにより調製される、組成物。

【請求項3】

請求項2に記載の組成物を含有する、経口投与に適した薬学的組成物。

【請求項4】

真菌感染の処置または予防のための経口用薬学的組成物であって、該組成物は、噴霧乾燥技術により調製される固体分子分散物を含有し、ここで、該固体分子分散物は以下：

(a) ポサコナゾール；および

(b) ヒプロメロースアセテートスクシネット(HPMCAS)

を含有する、経口用薬学的組成物。

【請求項5】

前記真菌感染がAspergillus感染もしくはCandida感染であるか、または接合菌綱もしくは皮膚糸状菌により引き起こされる真菌感染である、請求項4に記載の経口用薬学的組成物。

**【手続補正2】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0021****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0021】**

本発明の別の局面は、患者の真菌感染に起因する状態（例えば、オトミコーシスもしくはクロモミコーシス）の患者の処置および／または同状態の予防のための方法、あるいは患者のAsperillus感染もしくはCandida感染の処置のための方法、または患者のAsperillus感染もしくはCandida感染の予防のための方法であって、それらを必要とする患者に本発明の組成物を投与する工程を包含する方法を提供する。本発明の別の局面は、接合菌綱（例えば、ケカビ属、クモノスカビ属、またはリゾムコール属など）により引き起こされる患者の真菌感染、皮膚糸状菌により引き起こされる真菌感染（例えば、体部白癬、股部白癬、足白癬、須毛白癬、頭部白癬、黒色癬、黄癬、もしくは渦状癬）または爪真菌症と関連する任意の他の因子により引き起こされる真菌感染の処置および／または予防のための方法であって、それらを必要とする患者に本発明の組成物を投与する工程を包含する方法を提供する。いくつかの実施形態において、1日に単一用量または分割用量（例えば、1日2回）で、本発明の組成物を含有する用量を投与することが好ましい。

本発明はまた、以下の項目を提供する。

(項目1)

少なくとも1つのpH感受性ポリマー中に分子分散した弱塩基性かつ難水溶性アゾールを含有する組成物であって、該組成物は、該アゾールおよび該少なくとも1つのpH感受性ポリマーを含有する溶液から溶媒を蒸発させることにより調製される、組成物。

(項目2)

ヒプロメロースアセテートスクシネット中に分子分散したポサコナゾールを含有する組成物であって、該組成物は、ポサコナゾールおよび該ヒプロメロースアセテートスクシネットポリマーを含有する溶液から溶媒を蒸発させることにより調製される、組成物。

(項目3)

項目2に記載の組成物を含有する、経口投与に適した薬学的組成物。

(項目4)

真菌感染の処置または予防のための方法であって、該方法はそれを必要とする患者に、噴霧乾燥技術により調製される固体分子分散物を含有する経口用薬学的組成物を投与する工程を包含し、ここで、該固体分子分散物は以下：

(a) ポサコナゾール；および

(b) ヒプロメロースアセテートスクシネット(HPMCAS)

を含有する、

方法。

(項目5)

上記真菌感染がAspergillus感染もしくはCandida感染であるか、または接合菌綱もしくは皮膚糸状菌により引き起こされる真菌感染である、項目4に記載の方法。